

オスばかりのお濠の力毛

東京都立戸山高等学校

SSH生物2年 児玉実優 西崎春菜

動機

- カモの群れでは性比が偏っていることがある。
- 彼らの生態を理解することは生態系の保全において意義があるため、カモの個体数が多く観察もしやすい皇居の内濠でこれを調べた。

方法①

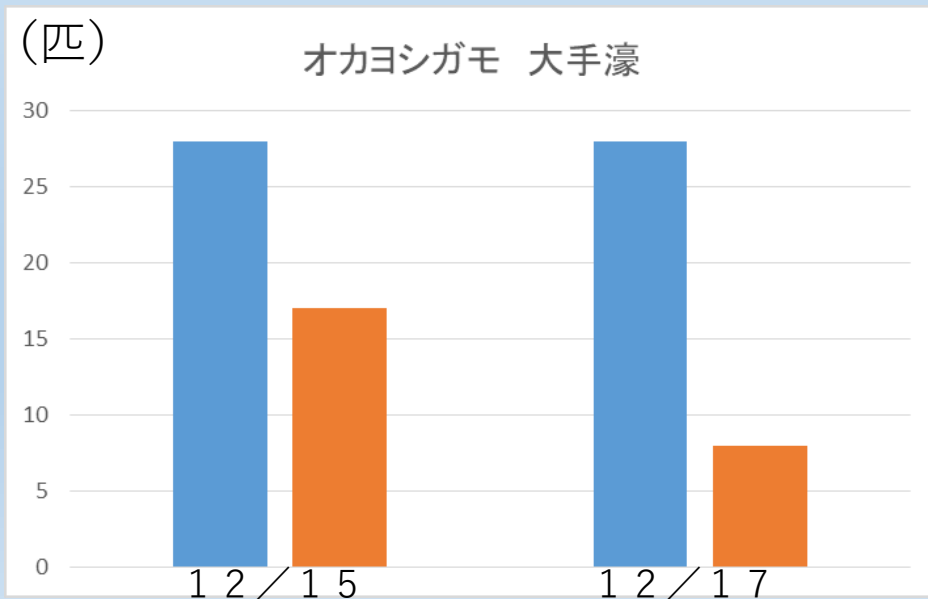
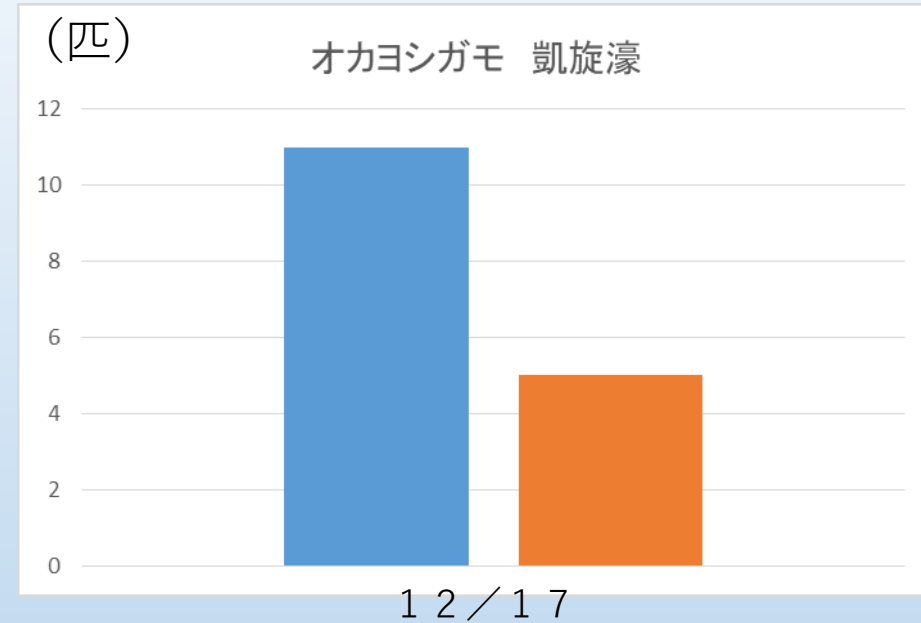
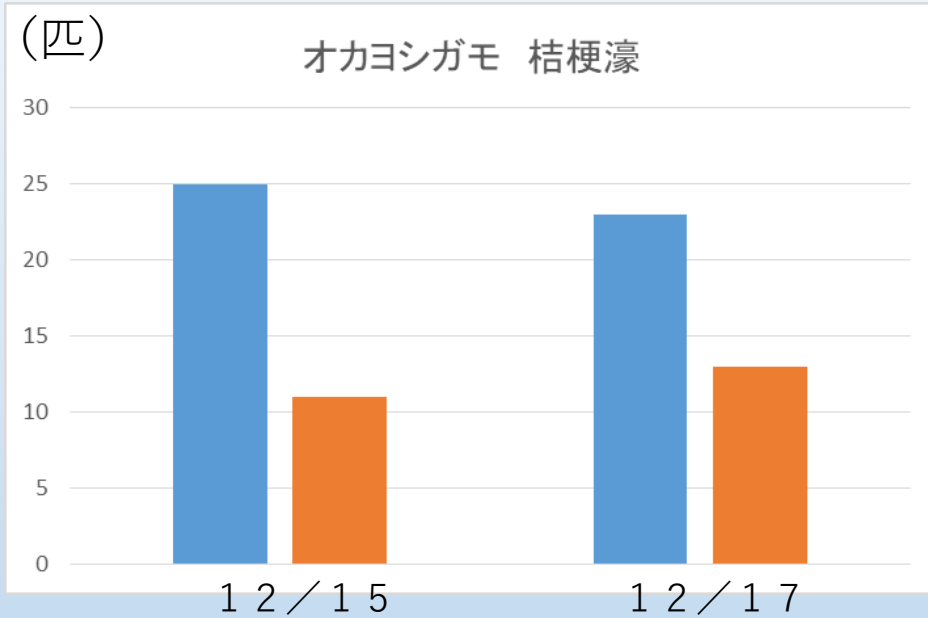
カモが集中している 3 つの濠で

昨年 1 2 月に 2 日間調査を行った。

2 0 分間、雌雄と種類を判別し記録した。

結果 1

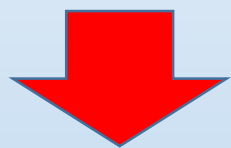
青・・・オス 赤・・・メス



オスが多い
オス：メス＝約 2：1

考察①

メスの方が弱いから少ない？

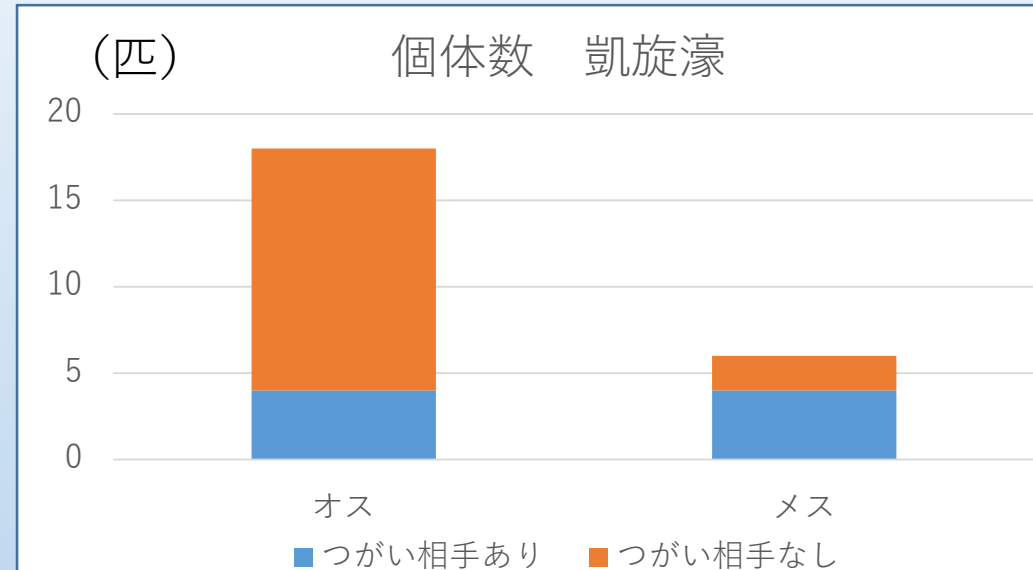
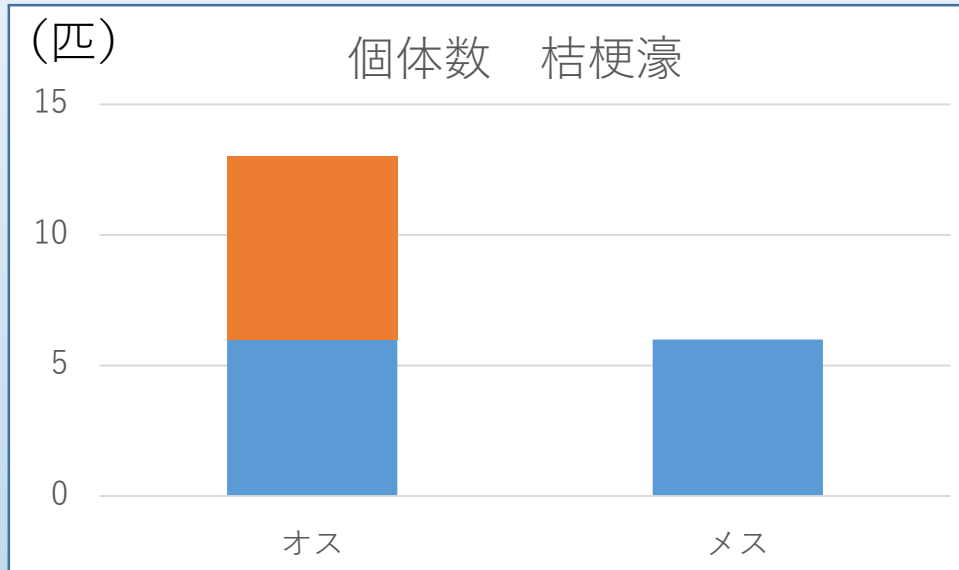


つがい形成の有無により

メスの立場は変わるため、

どれほどつがいを形成しているか調べた

結果 2



殆どのメスにつがい相手あり
独身オスがつがい相手のいる
メスを追いかける

考察②

~~メスは立場が弱い~~

お濠のオカヨシガモは

独身のオスが多かった。

展望

渡り期からつがい形成の時期を調べる

また参考資料によると・・・

つがい形成が遅い種類のカモほど

オスの比率が高くなる傾向がある

参考資料

Social behavior of breeding gadwalls in North Dakota
(Thomas J.Dwyer 1974)

鳥類学（ギル）

生態学入門 第2版

バードリサーチ・カモの性比調査

日本のカモ識別図鑑

現在 (10 / 31)、カモは確認されず……

ご清聴

ありがとうございました